

Letter from Kumaji Meguro to Fumio Fred and Yoneko Takano, July 21, [1942]

其の後は余り御無沙汰致して居ります。赦して下さい。此頃は暑デショウ。皆々様子ハ御達者デ居ラルルトノ由何ヨリノ事デス。私共モ皆々達者デ働テ居リマスカラ安心シテ下サイ。ママハセンタクと、ハウスソーズデー日ヲ暮ラステ、パパ家ノ廻リニ花ヲ蒔イタカラ毎日水ヲ掛ケ手入ヲシテヨクソダチマステ只今ハモシコスノ花ハニツ三ツサキ初メマスタ。午前中ハ、ベーボール見テ、外ニデマヲ聞タリ語タリ、夕飯後ハシモヲ見テ八時ニ帰宅ス休ミマス。之ハ毎日ノ仕事デ此ノ老人六十四才ニナッテ初メデス。生レカワッテモ有リマスマイ。実ニ、ユカイデ達者デアルカラ安心下サイ。教会モ近ニアルカラ集会アル度々私モ参リテ

皆々様初メ私共モ達者デ平和ノ日ヲ祈テ居リマス。当センターデハ、キポン五月六月分ヲ貰テ七月分ハ明日カラ貰ウ事ス。働キ人ハ五月分ト六月は早くニ貰テ七月分近々に貰フデショウ。キモノ代今日三ヶ月分クレ初メマスタ。男子一ヶ月分三弗八二仙、女子一ヶ月分四弗六二仙、十八才ヨリ下ノ人ハ二弗六二仙デス。右ノ金ハ入用ノ物ヲセスルニバロックヘオダスルノデス。御地ハ如何デス。今バンハ日本ノショガ八時カラ十時迄。サタデーボンオドリケゴヤッテ居リマス。コレモ大会ハサンデー午後二時カラ夜十時迄見物人カラ貰タ金ハ百五十弗デアリマスカラ、ニギヤカナ事デス。

其レカラ米子当ポモナノ人々ハ八月十五日かカラ、遠クワイオミグ州ノ方ヘムブスルトノ事デス。其レモハッキリトハワカリマセン。行ク様子ナリマスタナラ又々手紙ヲ上マス。

米子ドコヘ行テモ達者デ居レバ又面会シテ笑フ日モ近ヘ事ト思フカラ心配スナイデ其ノ日ノ来ルノヲ待テ居リナサイ。御地ノ人々、如何ナルトコロニ行カルデショウ。其ノ時ハ御知セ下サイ。

其レデ米子、私共ノグンブヘ預ケタ荷物ハ軍部ヨリノアンサデハ東一街ノ七百七番地有ルトノ事デ安心スマスタ。先ハ申上ゲタイ事モアレ共、又ニアトカラ申上ゲマス。サヨナラ

パパヨリ

七月三十一日

御夫婦様

ママカキマセン。ウラミナサイ。

高野御両親様ハ後日申上マスカラ宜シク御伝ヘ下サイ。

[Written at Pomona Assembly Center]